

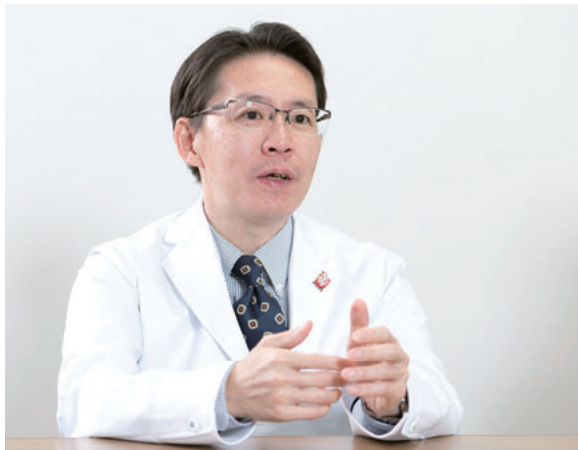
DATA：放射線科

- 日本医学放射線学会専門医修練機関(全部門)、日本放射線腫瘍学会認定医修練機関(A認定)
- 放射線診断(CT検査、MRI検査、核医学(RI)検査、超音波検査)、放射線治療(治療用CT、3D-CRT、IGRT、リニアック(直線加速装置)、microselectron HDR-V3高線量率密封小線源治療装置、CTシュミレータ装置、マイクロ波温熱療法装置)

多彩な治療を展開

当科は診断部門(常勤医師5名)と治療部門(常勤医師2名、非常勤医師1名)に分かれており、放射線技師28名とともに診断・治療を行っています。

治療部門は、病院規模に対し医師数が充実しておりリニアック(外部照射：前立腺がん、乳がん、肺がん、頭頸部がんなど)や密封小線源治療(内部照射：子宮がんなど)などを行える、県内でも数少ない放射線治療対応施設です。加えて診断部門でも、X線や血管造影、CT、MRIといった診断技術を治療に活かした新しい治療法に取り組んでいます。



診断装置を治療へ応用する、IVR

インターベンショナルラジオロジー(IVR)とは、画像診断装置で体内の情報を見ながら体内にカテーテルなどを挿入して処置を行う治療方法で、外科手術を伴わないため身体的負担も軽い低侵襲治療です。血管を用いた肝臓がんに対する動脈塞栓術や腫瘍部分に対する抗がん剤の注入、画像下で針を穿刺して局所に熱を加えるラジオ波焼灼法、熱ではなく局所を凍結する凍結療法など様々な手技があります。当院ではこのIVRのひとつである凍結療法を開始しました。

最先端の画像下治療・凍結療法、始まります。

凍結療法とは、凍結による細胞壊死のメカニズムを活用した方法で、まず腫瘍に約1.5mmの針を局所麻酔下で穿刺します。針は二重構造になっており、アルゴンガスを通すことで周囲を-185℃まで下げることができます。これによって腫瘍を凍結させます。その後、ヘリウムガスを通すことで針の温度を上げ(30℃)解凍します。5分程度のインターバルの後、このサイクルをもう一度行って、処置は終了です。

この凍結療法の大きな特長は、MRI、CTなどの画像診断装置で凍結範囲を正確に視認できるという点です。比較されるラジオ波焼灼法では、どこまで焼灼できたか画像では判断できず、医師の経験に頼ることになります。この特徴により凍結療法は近隣臓器など正常部位を損傷する事なく処置ができます。また、ラジオ波法が熱による疼痛を伴うのに対し、凍結法はほとんど痛みを感じないというのも利点のひとつです。

凍結療法は、国内で約20施設前後しか行っており、当院はそのうちの1施設です。さらに我が国への導入から臨床試験、保険収載に至るまで尽力した医師が在籍しており、高度な知見と経験で治療にあたります。

凍結療法は現在、小径腎がんのみが保険適応となっていますが、海外では前立腺がん、骨転移、乳がん、肝臓がんなどにも応用されています。今後、当院では前立腺がんに対する凍結療法も開始していく予定です。当院の凍結療法は2018年1月から開始されました。治療については通常の紹介と同様に各診療科へご紹介頂き、臨床的診断をもとにディスカッションした

▼凍結治療装置「Cryo-Hit」



診断技術の向上は、医療の質をも向上させる

放射線科

うで適応となれば治療を行います。いずれにしても低侵襲の新しい治療法がひとつ増えたということは、患者様への大きなメリットになると考えます。

の質も一層向上させます。より安心して安全な検査体制を今後も構築してまいります。

診断機器を更新、 より多くの情報で診断する

最新型CT装置(320列CT)、最新型MRI装置(3.0テスラ)、循環器用血管撮影装置を導入したことで、高精細で情報量の多い診断が可能になりました。CTでは同一個所を1秒間に数回撮影し、時間軸を含めた4次元画像診断が可能になった事で、心臓はもちろん脳外科領域で、大きな効果を発揮しています。検査精度の向上は、医療



地域の先生方へ：ダイレクトサービスのご紹介

当院では、近隣医療機関の先生方からのCT、MRI、RIなどの画像診断を直接受け付けています。この「ダイレクトサービス」は、依頼当日に検査を受けさせて頂いたり、緊急を要するものは即日対応させて頂いたり、可能な限り先生方のご要望を受け入れるサービスで、現在では300施設程度登録されています。ご利用にはまず当科への登録が必要です。ご希望される場合は当科受付までご連絡ください。必要書類をお送りさせていただきます。

information

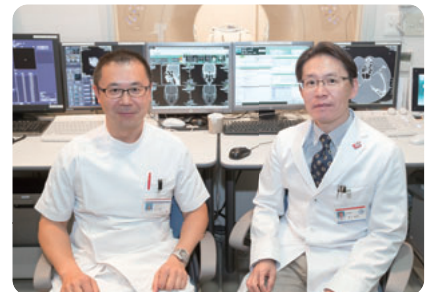
市川リレーションシップカンファレンスを開催します

地域のみなさまに安心して医療を受けていただくための体制構築に向けた、東京歯科大学市川総合病院と地域の先生方を結ぶ「市川リレーションシップカンファレンス」。紹介・逆紹介においてそれぞれの専門性を最大限に活かせるように、相互理解を目的としたカンファレンスです。

- ❖ 日程：平成30年3月26日(月) ❖ 時間：19:30~21:00
- ❖ 場所：東京歯科大学市川総合病院 角膜センター3階会議室

- 1)「パノラマX線写真や頭部CT、MRIにおいて検出される副鼻腔の偶発的所見、マネージメント」 馬場 亮
- 2)「臍の最新画像診断-臍腫瘍診断への市川総合病院放射線科の取り組み-」 小橋 優子
- 3)「Interventional Radiology:画像下にかんや病変だけを切らずに治療」 山添 真治

みなさまのご参加、お待ちしております。



放射線科 技師長
田中 博俊

放射線科 部長
最上 拓児

医療機関の先生方へ

市川総合病院 診療情報提供書

検索

当院と地域の病院・診療所の先生方との間で、患者様のご紹介などを円滑に行えるように、「患者支援センター」を設置しています。ご不明な点がございましたら、下記へお尋ねください。

患者支援センター TEL 047-322-0151(内線2214) FAX 047-324-8539(直通)

開室時間 月曜日～金曜日：午前9時～午後5時 土曜日：午前9時～午後1時(第2土曜日は休診日)